

北海道における伊達市産「桃」のトップセールス

北海道と福島県は、明治時代に福島県の農民が北海道に移住し、開墾事業を進めていた事もあり、歴史的にも長い交流が続いています。

このような背景もあり、北海道市場で扱う桃の福島県産の割合が7割を超えるシェア率のため、大変重要な消費地区となっています。

伊達市では出荷が本格化する「桃」の消費拡大を図るため、市長をはじめとする関係者が北海道札幌市・旭川市でトップセールスを行います。

(1) 日 程 7月20日(水)～21日(木)

(2) 場 所 北海道札幌市、旭川市

(3) 内 容

関係機関及び市場等への表敬訪問

①札幌市(北海道庁、札幌市役所、札幌商工会議所、札幌市中央卸売市場、市内量販店)

②旭川市(旭川市役所、旭川地方卸売市場、市内量販店)

(4) 主 催 福島県くだもの消費拡大委員会

(5) 参加者

伊達市長、桑折町長、JA全農福島県本部副本部長、

JAふくしま未来伊達地区役員代表、ミスピーチキャンペーンクルー他

(6) その他

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、今回は表敬訪問のみ行い、例年実施している量販店での試食販売及びPRは行いません。

担当 | 産業部農政課
電話 024-573-5635